

計画停電や年末年始・イベント等で通常より早く閉店する場合には、自動通信時刻、開閉店時刻の変更が必要な場合があります。

閉店後の帳票印字を自動で行っている場合に印字を早く自動で出したい時、稼働率を正確に出したい時、他社台毎計数機を導入している時は、それぞれ対応が必要になります
 以下記載内容は、必須作業ではありません。必要に応じて対応願います

管理サーバ (MS-55) 自動通信時刻変更方法 営業中設定可能
 担当者権限により、以下画面は表示されない場合があります

短縮営業用の通信タイプ設定方法

以下記載内容は、短縮営業用の通信タイプを作成する手順です

通信タイプ1をタイプ2へコピーし、通信時間を変更する手順を例に記載しております

1. 【通信】- 【自動通信】の順にクリックします

通常の運行タイプは「F6:登録」(通常登録)で登録し、運行日は「F8:カレンダー」で登録します。
 特定日のみ有効な運行タイプは「F7:特定日」で登録します。
 「F5:複写」により、現在表示しているタイプを複製することができます。

運行タイプ

条件 No	先行条件	時刻	処理内容	店舗	相手先	区分	詳細	前日	削除
1		09 : 00	店舗通信	C II デスク		台	全台通信 [0台]		
2		09	自動通信設定複写						
3		09							
4		10	複写先の運行タイプを選択してください。						
5		10							
6		10							
7		10							
8		11							
9		11							
10		11							
11		11							
12		12							
13		12 : 00	店舗通信			台			
14		12 : 30	店舗通信	C II デスク		台			
15		12 : 30	店舗通信	C II デスク		台			

自動通信設定複写

タイプ1 複写 ⇒

登録 キャンセル

自動通信設定複写

タイプ1 のデータをタイプ2 に複写してもよろしいですか?

OK キャンセル

【OK】をクリックすると、タイプ1の内容がタイプ2にコピーされます

2. 運行タイプ「タイプ2」の画面になります(手順1でコピーしたコピー先のタイプになります)
通信内容を変更し【F6:登録】ボタンをクリックしてください

通常営業時の閉店時刻前後の項目の時間を早め、必要の無い時刻の通信を削除してください

39	19 : 30	店舗通信	C II デスク		台	全台通信 [C台]	:A	
40	20 : 00	店舗通信	C II デスク		台	全台通信 [C台]	:A	
41	21 : 00	店舗通信	C II デスク		台	全台通信 [C台]	:A	×
42	22 : 30	店舗通信	C II デスク		台	全台通信 [C台]	:A	×
43	23 : 00	店舗通信	C II デスク		台	全台通信 [C台]	:A	
44	23 : 15	自動印字	C II デスク		台定型	集計		
45								

変更したい通信内容の時刻を変更します

消したい通信内容を削除『1:×』を選択

3. 短縮営業日の「運行タイプ」を登録します

F1定時 F2印字 F3複写 F4登録 F5特定日 **F8カレンダー** F9終了 F11切替 F12ヘルプ

通常の運行タイプは「F6:登録」(通常登録)押下で登録し、運行日は「F8:カレンダー」で登録します。
特定日のみ有効な運行タイプは「F7:特定日」(特定日登録)押下で登録します。
「F5:複写」により、現在表示している設定を他のタイプに複写します。

運行タイプ

条件No	先行条件	時刻	処理内容	店舗	相手先	区分	詳細	前日	削除
1		19 : 00	店舗通信	C II デスク		台	全台通信 [C台]	:A	

【F8:カレンダー】をクリックします

F2印字 **F6登録** F3自動通信 F9終了 F11切替

店舗 システムカレンダー (マシン共通)

システムカレンダー

運行タイプ タイプ1 **タイプ2** タイプ3 タイプ4 タイプ5 特定日

休祝祭日 平日 休日 初業日 分類日1 分類日2 分類日3

天候 晴 雨 曇

店舖別カレンダー

催事日 平常 休業 自店入替

店休日 営業日 店休日 フロア休日

【F6:登録】ボタンをクリックします

変更した「運行タイプ」を選択します

2010年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2010年12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2011年1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

該当する営業日を選択します
選択日の色が変わります

以上で管理サーバ(MS-55)の自動通信設定は完了です

営業端末 (MT-01) 自動印字時刻変更方法

営業中設定可能

担当者権限により、以下画面は表示されない場合があります

1. 【管理】- 【設定】- 【共通】- 【業務設定】- 【自動印字設定】の順にクリックします

時刻を変更します

【登録】ボタンをクリックします

No.	時刻	出力帳票		ジャーナルプリンタ
1	23 : 05	全店集計	貯玉日報	1
2	:			1
3	:			1
4	:			1

営業端末 (MT-01) 開閉店時刻変更方法

営業中設定不可、変更当日不可

担当者権限により、以下画面は表示されない場合があります

全店集計の稼働率、機種別稼働帳票等稼働に関して正確なデータが必要でない場合は変更の必要はありません

1. 【管理】- 【設定】- 【共通】- 【初期設定】- 【開閉店時刻設定】の順にクリックします

曜日毎に設定できますので該当の曜日の閉店時刻を24時間表記で変更し【登録】してください

翌週も継続して時間営業を行わない場合は、次にその曜日になる前に元の時間に戻してください

その他の設定箇所は変更しないようにしてください

(画像は木、金、土曜日を21:00に変更しています)

フロア設定を使用している場合には、フロア毎の設定も変更してください

曜日	開店時刻	営業分岐時刻	閉店時刻	自動クリア時刻
日	09 : 00	17 : 00	23 : 00	99 : 99
月	09 : 00	17 : 00	23 : 00	99 : 99
火	09 : 00	17 : 00	23 : 00	99 : 99
水	09 : 00	17 : 00	23 : 00	99 : 99
木	09 : 10	17 : 00	21 : 00	09 : 06
金	09 : 00	17 : 00	21 : 00	99 : 99
土	09 : 00	17 : 00	21 : 00	99 : 99

管理サーバ (MS-55) 開閉店時刻変更方法

営業中設定可能

担当者権限により、以下画面は表示されない場合があります

全店集計の稼働率、機種別稼働帳票等稼働に関して正確なデータが必要でない場合は変更の必要はありません

1. 【共通設定】 - 【開閉店時刻設定】の順にクリックします

曜日毎に設定できますので該当の曜日の「閉店時刻」「閉店時稼働数」の時刻を24時間表記で変更し【登録】してください

翌週も継続して時間営業を行わない場合は、次にその曜日になる前に元の時間に戻してください

その他の設定箇所は変更しないようにしてください

(画像は木、金、土曜日の閉店時刻を21:00、閉店時稼働数の時刻を22:40に変更しています)

店舗

フロア 営業機参照

フロア毎に開閉店時刻の設定を店全体の開閉店時刻を設定する ※「締め処理時刻」「営業分岐時刻」の項目は、アラブ動可分析システム導入時のみ使用します。

フロア設定を使用している場合には、フロア毎の設定も変更してください

曜日	開店時刻	閉店時刻	締め処理時刻	営業分岐時刻	稼働数	
					開店時稼働数	閉店時稼働数
日	09 : 00	23 : 00	01 時間 00 分後	17 : 00	09 : 20	22 : 40
月	09 : 00	23 : 00	01 時間 00 分後	17 : 00	09 : 20	22 : 40
火	09 : 00	23 : 00	01 時間 00 分後	17 : 00	09 : 20	22 : 40
水	09 : 00	23 : 00	01 時間 00 分後	17 : 00	09 : 20	22 : 40
木	09 : 00	21 : 00	01 時間 00 分後	17 : 00	09 : 20	20 : 40
金	09 : 00	21 : 00	01 時間 00 分後	17 : 00	09 : 20	20 : 40
土	09 : 00	21 : 00	01 時間 00 分後	17 : 00	09 : 20	20 : 40

他社台毎計数機データ手動通信について 閉店後作業

他社メーカー製 (NGC、JOYCO、アイ電子等) 台毎計数機導入店舗様は閉店後に本作業を行ってください

1. 「顧客・貯玉」システムの閉店処理を行います

2. 【管理】 - 【顧客・貯玉データ】 - 【貯玉移行処理結果】の順にクリックします

【持玉の貯玉移行】ボタンをクリックし、本日分の持玉を貯玉に移行します

設定されている自動通信時刻 (【管理】 - 【設定】 - 【顧客】 - 【初期設定】 - 【持玉サーバ設定】) で通信は実行されますが、貯玉日報などの帳票へはその時間まで反映しませんので手動で行うことをお勧めします。

ダイコク電機側の作業は以上ですが、台毎計数機側の作業に関しては各メーカー様にご確認ください

業務設定 (顧客・貯玉) 持玉サーバ通信処理

台: 閉店中 景品: 閉店中 顧客: 閉店中

持玉の貯玉移行

※ボタンが赤色の場合は、必ず実行してください

指定日通信 未

済: 貯玉移行完了
未: 貯玉移行未完了
空白: 営業日無し

日付	時刻	区分	結果	持玉移行会員数(人)	失敗会員数(人)	内容	詳細	
1	2009/00/00	22:22:22	閉店	失敗	0	0	持ち玉一覧作成失敗(内部エラー)	

以上で持玉通信の手動通信は完了です